

名言英語 単語

RELEARN ENGLISH
VOCABULARY WITH
396 QUOTES

心に響く名言で英単語を学び直す

Z会編集部

単語帳の例文がすべて
心に響く名言だったら...

名言英語シリーズ第2弾



396の名言で

必須英単語1300が身につく

目次

はじめに.....	3
本書の利用法.....	6
基礎文法のまとめ.....	9
Chapter 1 努力・成功	14
Chapter 2 困難・挑戦	38
Chapter 3 発想・アイディア	62
Chapter 4 仕事	82
Chapter 5 人生	108
Chapter 6 自己・他者	130
Chapter 7 自由・平等・平和	160
Chapter 8 文化・芸術	188
Chapter 9 学び・教育	212
Chapter 10 人間・自然	232
その他の格言	254

Close-up & Review

Alfred Nobel (アルフレッド・ノーベル)	34
Temple Grandin (テンブル・グランディン)	58
Grace Hopper (グレース・ホッパー)	78
Sundar Pichai (サンダー・ピチャイ)	104
Walt Disney (ウォルト・ディズニー)	126
Natalie Portman (ナタリー・ポートマン)	156
Ogata Sadako (緒方貞子)	184
Pablo Picasso (パブロ・ピカソ)	208
Astrid Lindgren (アストリッド・リンドグレーン)	228
Wangari Maathai (ワンガリ・マータイ)	250

索引.....	262
---------	-----

心に響く名言で英単語を学ぶ

『名言英単語』は、心に響く英語名言を例文に、高校教科書レベルの英単語が学べる単語集です。「努力・成功」「困難・挑戦」などの10のテーマ別に、396の英語名言が収録されており、そこに登場する約1300語の見出し語とその派生語を身につけることができます。

単語を覚える際、例文の音読や暗記は有効な手段です。本書の例文は**1つ1つが含み豊富に富んでおり、登場する単語の意味が自然に頭に残ります**。思わずうなったり、クスッと笑えたり、心が軽くなったりする素敵な言葉の数々が、皆さんの心に残り、仕事や人生に生きる気づきを与えてくれるでしょう。

また、文構造の補足もあるので、「英語は久しぶり」という大人の方から、「興味のある英文を通して力を伸ばしたい」という中高生まで、幅広くお使いいただけます。本書の見出し語は、日常生活で出会う英文を読み解くのに必須と言える英単語ばかりなので、「英語学習にチャレンジしたいけれど、何から始めるか迷っている」という方の、**はじめの1冊としてもおすすめ**です。名言や単語の音声は、Webサイトから無料でダウンロード・ストリーミングができ、学習にお役立ていただけます。

名言英語シリーズで、ポジティブな学びを

この『名言英語シリーズ』の先駆けとなる『名言英文法』は、2021年3月に発売され、多くの方に手に取っていただくことができました。読者の皆さまからは次のような感想をいただき、心に響く名言を通して英語を学ぶ、本シリーズの意義を改めて確信しました。

- 英語が苦手でも何をやってもつまらなかったのですが、この本では例文を暗唱して、文法だけでなく教養も身につけられるので、やる気が出ます！
- 子供とともに読んでいます。学生時代の記憶を頼りに、久しぶりの英語、面白いです。子供たちも、偉人の言葉や英語にも興味を持ってきているみたいで、読書感覚で手に取っています。
- この本に出てくるクリスティアーノ・ロナウドやエマ・ワトソンよりも年上になった今でも、英語学習の機会をくれたこの本に感謝しています。これを機に十数年ぶりに英検やTOEICに再挑戦できればとも思います。

単語と文法は英語学習に欠かせない両輪ですが、多くの学習者がこの基礎の習得に苦労しています。そしてそこには、**苦手な英語に立ち向かう億劫さや、忙しい生活の中で時間を割けないもどかしさ**があるように思います。そんな悩みを抱えた方でも、本シリーズなら「英語は苦手だけど、名言なら面白そう」「今日はやる気が出ないけど、名言を読むだけでもやろうかな」と思っていただけではないかと思います。

自分から「読みたい」「理解したい」と思える英文だからこそ、**学ぶ意欲がわいてくる**。忙しい日々の中で少しでも**時間を割きたいと思える**。本シリーズを通して、そんなポジティブな学びをお届けできたら嬉しい限りです。

新しい世界に触れ、教養を深めるきっかけに

もちろん、英語が好きという方にも楽しんでいただける内容になっています。大人になって、ふと、「**教養を身につけたいな**」「**久しぶりに何か勉強してみようかな**」と思うことがあるかもしれません。自分の知らない新しい世界に触れることは、いくつになっても楽しいことです。

本書の英文コラム Close-up & Review では、IT・エンタメ・芸術・人権保護・環境保護など、さまざまな分野の著名人10名を取り上げています。この英文を読むことで、本書に登場する英単語の復習・定着を図ることができますが、その内容にもぜひ注目してみてください。

- ノーベル賞はどのようにして生まれたのか？ なぜ今でも世界中の注目を集めているのか？
- 今では当たり前前に存在するコンピューター技術や映画文化はいつ生まれたのか？
- 20世紀最大の画家と言われるピカソの偉大さはどこにあるのか？

など、改めて身の回りのことに興味を持ち、考えてみるきっかけになるはずです。

本書が英単語の習得に役立つのはもちろんのこと、新たな気づきやより深い学びにつながることを願っています。

I can never stand still. I must **explore** and **experiment**.

僕はじっと立っていることはできない。調査したり実験をしたりせずにはいられないんだ。

Walt Disney 1901-1966 デイズニーの創業者

Close-up & Review ウォルト・ディズニー p.126

001	explore [ɪksplɔːr]	目 調査する, 探検する 他 を探検する
	派 explorer	名 探検家
	派 exploration	名 調査, 探検
002	experiment [ɪksperɪmənt]	目 実験をする, 試みる 名 実験, 試み
	派 experimental	形 実験的な

I can ... stand still. I must explore and experiment.

S V S V V

- stand still は「じっと立っている, 現状にとどまる」の意。must はここでは「…しないではいけない, …しないと気がすまない」の意。

It has been my **observation** that most people **get ahead** during the time that others **waste**.

たいていの人は, 他の人が(その時間を)浪費している間に成功するというのが, 私の観察である。

Henry Ford 1863-1947 フォード・モーター創業者

003	observation [əbzəʊvəʃən əb-]	名 観察; 気づくこと
	派 observe	他 を観察する; に気づく 目 観察する
004	ahead [əˈhed]	副 進んで; 前方に, 先に get ahead 成功する; 先へ進む
005	派 behind	副 遅れて; 後ろに
006	waste [weɪst]	他 を浪費する 名 浪費; 廃棄物

It has been my observation that ... that 節内 most people get ahead ...

S V C 真主語

S V

- that others waste は関係詞節で, time を修飾している。



Energy and persistence conquer all things.

活力と粘り強さはあらゆることを克服する。

Benjamin Franklin 1706-1790 アメリカの政治家, 科学者

007	energy [éːnədʒi]	名 活力, エネルギー
008	persistence [pəˈsɪstəns]	名 粘り強さ, 固執, 堅持
	派 persistent	形 粘り強い, 固執する
009	conquer [kɒŋkə kɒŋ-]	他 を克服する, を征服する 自 勝つ

Energy and persistence conquer all things.

S V O

There is no **magic** to **achievement**. It's really about hard work, **choices**, and **persistence**.

偉業に到達する魔法などありません。それは本当に, 大変な努力, (複数の) 選択, そして粘り強さに尽きます。

Michelle Obama 1964 バラク・オバマ大統領夫人

010	magic [mædʒɪk]	名 魔法, 魔力 形 魔法の
011	achievement [əʃɪvmənt]	名 偉業, 功績; 達成
012	choice [tʃɔɪs]	名 選択; 選択権

There is no magic It's really about

V S SV C

- 〈there is no + 名詞〉は「(名詞)がない」という意味。It is (all) about ~. (~に尽きる, ~が最も重要である) という表現があり, 実感を込めて really (本当に) が使われている。

Being **confident** and believing in your own self-worth is **necessary** to **achieving** your **potential**.

自信を持ち、自分の自尊心を信じることは、あなたの**可能性を実現する**のに必要なことです。

Sheryl Sandberg 1969- Facebook の COO

620	confident [kɒnfədənt kɒn-]	形 自信に満ちた；確信している
621	necessary [néəsəseri -səri]	形 必要な
622	achieve [ətʃi:v]	他 を達成する；を成し遂げる 自 成功を収める
623	potential [pə'tenʃəl]	名 可能性；資質 形 可能性を秘めた、潜在的な

Being ... and believing in ... is necessary to

S V C

• believe in ~ は「～の存在・価値などを信じる」、self-worth は「自尊心」の意。

Unique and **different** is the new generation of beautiful. You don't have to be like everybody else.

個性的で**他と違う**ことは、新世代の美なの。他の皆と同じである必要はないわ。

Taylor Swift 1989- アメリカのシンガーソングライター

624	unique [ju:nɪk]	形 唯一の、独特の
625	different [dɪfərənt]	形 他と違った；独特の
	differ	自 異なる；意見が合わない

Unique and different is the ... beautiful. You don't have to be like

S V C S V C

• 通常、主語や目的語には名詞の働きをする語句が使われるが、ここでは形容詞 unique, different, beautiful が名詞のように使われている。また、主語の unique and different は「A かつ B」という1つのものを指しているため、be 動詞は単数の is で受けている。



No one can make you feel **inferior** without your **consent**.

あなたの**同意**なしには、誰もあなたに**劣等感**を抱かせることはできません。

Eleanor Roosevelt 1884-1962 フランクリン・ルーズベルト大統領夫人

626	inferior [ɪnfɪəriə]	形 劣っている；下位の
627	superior	形 より優れている；上位の
628	consent [kənsént]	名 同意；合意 自 同意する

No one can make you feel inferior

S V O C

• この make は使役動詞。(make O + 動詞の原形) で「O に…させる、O が…するようにする」という意味を表す。feel inferior は「劣等感を抱く」の意。

There is no **amount** of money in the world that will make you **comfortable** if you are not **comfortable** with yourself.

もしあなたが自分に**満足**していないのなら、あなたを**満足**させる**量**のお金はこの世にありません。

Stuart Wilde 1946-2013 イギリスの自己啓発作家

629	amount [əmaʊnt]	名 量, 額 a ... amount of ~ ...の量の~ ... には large, small などの形容詞が入る。
630	comfortable [kɒmfɔ:təbl]	形 自信が持てる；心地よい、快適な
	comfort	名 心地よさ；慰め 他 を慰める

There is no amount of money ... [that will make you comfortable]

V S [S] [V] [O] [C]

if you are not comfortable

S' V' C'

• 関係詞節内の make は1つ上の文と同じく使役動詞。
• be comfortable with oneself は「自分に自信が持てる、自分自身に満足する」ということ。

Alfred Nobel

(アルフレッド・ノーベル)

1833-1896 スウェーデンの発明家



Self-respect without the respect of others is like a jewel which will not stand the daylight.

他者への敬意に欠ける自尊心は、陽の光に耐えられない宝石のようである。



Since 1901, the Nobel Prize has been one of the most **valuable** and important **signs** of **international recognition** a person or group can **receive**. **Following** the wishes of the **founder**, Alfred Nobel, five prizes are **awarded** each year in the areas of **physics**, **chemistry**, **medicine**, **literature**, and **contribution** to peace. But how **exactly** did the Nobel Prize come about?

Born in Sweden in 1833, Alfred Nobel **grew** up to be a leading **inventor**, scientist, businessman and writer. He traveled widely, speaking several languages. At the time of his death, he held over 350 patents for a wide **range** of **inventions**. The most **well-known** of these is dynamite. This **explosive** **boosted** the **technologies** of **mining** and **engineering** and helped to **shape** the **modern** world, as well as making Nobel an **extremely** rich man.

However, **despite** the **peaceful** use of many of these **inventions**, his work on **explosives** **led** to increasingly **powerful weapons** of war. When Nobel was older, he worried that he would be remembered for this. He **declared** that his **fortune** should be used to **establish** **annual awards**, **including** one for peace. Furthermore, it was his wish that the **awards** would be given **globally**. **Perhaps** this is one of the reasons why the **awards** are still so well **respected** today.

1901年以來、ノーベル賞は、個人あるいは団体が**受け取る**ことのできる、最も**価値ある**重要な**世界的評価**の証の1つとなっています。**創設者**であるアルフレッド・ノーベルの意向に**従い**、**物理学**、**化学**、**医学**、**文学**、そして**平和貢献**の分野で、毎年5つの賞が**授与**されています。ではノーベル賞は**正確**にはどのようにして生まれたのでしょうか。

1833年にスウェーデンに**生まれた**アルフレッド・ノーベルは、**成長**して一流の**発明家**・**科学者**・**実業家**・**作家**となりました。彼は、数か国語を操りながら、各地を飛び回っていました。亡くなった当時、彼は**幅広い発明**で350を超える特許を取得していました。その中でも最も**よく知られている**のが、**ダイナマイト**です。この**爆薬**により、ノーベルは**非常に**裕福になっただけでなく、**採掘**や**工学**の**技術**を**飛躍的に発展**させ、**近代世界の形成**にも貢献しました。

しかしながら、これらの**発明品**の多くは**平和的に**利用された**にもかかわらず**、彼の**爆薬**の業績は、ますます**強力な戦争兵器**へと**つながりました**。ノーベルは晩年になると、自分がこのことで人々に記憶されるのではないかと危惧していました。彼は自身の**財産**が、**平和賞**を含めた、**年に一度の賞**を**創設**することに活用されるように**と表明**しました。さらには、その**賞**が**世界中**（の人々）に贈られるものとなるのが彼の願いでした。**おそらく**これが、今なおこの**賞**が高く**評価**されている理由の1つなのです。

→アルフレッド・ノーベルの名言 p.53

語句・表現

ℓ. 6 come about 「生まれる, 生じる」 ℓ. 7 grow up to be ~ 「成長して~になる」
ℓ. 10 patent 「特許」 ℓ. 15 increasingly 「ますます」 ℓ. 18 furthermore 「さらに」

文法

ℓ. 12 ~ 13 A as well as B 「BだけでなくAも」, make O C 「OをCにする」

makingの主語は、文の主語と同じ this explosive。ダイナマイトがノーベルを裕福にしたということ。

ℓ. 18 ~ 19 it was his wish that ... 「...ということが彼の願いだった」 it は形式主語。

ℓ. 19 ~ 20 this is one of the reasons why ... 「これが...の理由の1つである」